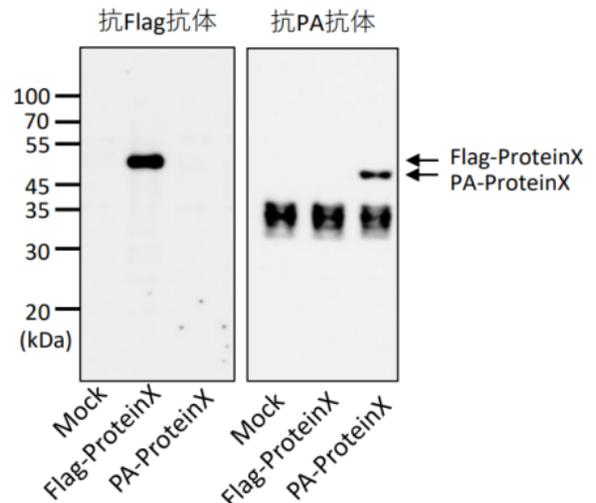


# ウェスタンブロッティングによる PAタグ融合タンパク質の検出

## 実験① FLAGタグとPAタグに対する抗体の比較

FLAGタグ、PAタグを融合したProteinXを発現するベクターをそれぞれ作製した。作製した発現ベクターをHEK293細胞に導入し、ウェスタンブロッティングにより抗PAタグ抗体の性能を評価した(図1)。

どちらの抗体を使用した場合も同程度にProteinXを検出することができ、PAタグは、FLAGタグと同様に使用できると考えられた。



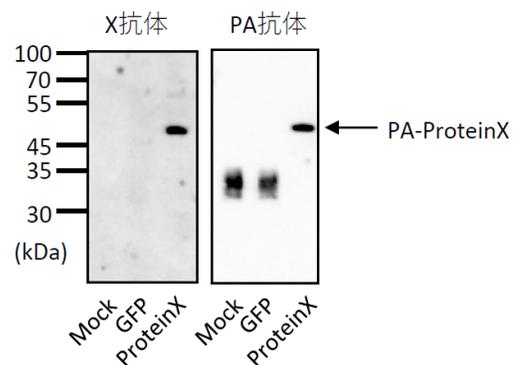
ブロッキング : 2% (w/v) skim milk / TBS  
一次抗体 : 1/2500 mouse-anti-Flag (他社)  
1/2500 Rat-anti-PA tag (#016-25861)

図1 FLAGタグ及びPAタグを付加したProteinXの発現評価

## 実験② PAタグに対する抗体とタンパク質を直接検出する抗体の比較

PAタグを融合したProteinXを発現するベクターを細胞に導入し、抗PAタグ抗体及びProteinXを検出する抗体で検出した(図2)。

どちらの抗体を使用した場合も同程度にProteinXを検出することができた。



ブロッキング : 2% (w/v) skim milk / TBS  
一次抗体 : 1/1000 mouse-anti-proteinX (他社)  
1/2500 Rat-anti-PA tag (#016-25861)

図2 タンパク質Xを直接検出する抗体と抗PAタグ抗体の比較

### 評価コメント

PAタグは、これまで使用してきたFLAGタグと同様に扱いやすいタグで融合タンパク質の発現への影響も低いと考えられました。抗体の品質も良く、これからも活用したいです。